

京のプレミアム米コンテストで 本市生産者が最高金賞

第5回「京のプレミアム米コンテスト」で、全174点から本市の生産者である岡山敏之さんが最上位の最高金賞を受賞しました。同コンテストで本市生産者が入賞、最高金賞を受賞されることは初めての栄誉です。

大山地区在住の岡山さんは定年退職後、本格的に農業を開始。化学肥料や農薬の使用を極力控え、有機肥料を中心とした土作りにより栽培し、稲が登熟した状態を見極めて刈り取ります。また、おいしいお米には自然豊かな大山のき



れいな水も欠かせません。「コンテストには所有する4枚の田でとれた米をそれぞれ食べ比べて一番おいしいと感じた米を出品しました。米作りには苦勞が多いですが、これからも『食べておいしい米作り』を続けていきたいです」と話してくれました。

【コンテストの概要】京都府が主催し、府内全エリアを対象に、生産者の米作りに対する意欲を醸成し、おいしいお米の生産技術の向上と京都府産米のブランド力向上を目指すもの。《農林課》



まいづる元気人

Vol.92

漁師×猟師

自然を相手に仕事をしたい



田井水産 兼 舞鶴東猟友会 所属
ていしかた 手石方 健一 さん

趣味が高じて手に職をつける

「小学生の頃から山でキャンプしたり、海水浴したりすることが大好きだった。夏休みになると友人と五老岳に行った海に行ったりしていた」と当時のことを楽しそうに振り返る。中学生になっても変わらず友人と海・山に行っていたそう。今でも海で魚釣りやサーフィンなどのマリンスポーツを満喫している。

漁師になろうと思ったきっかけは、知人の漁師の紹介。自分に合った仕事だと考え、田井水産で働くことを決意。職場が海なら少しでも近いところに住みたいと田井地区に移住した。

「田井地区のある大浦半島は壮大な山々に囲まれていて、日本海が開けている場所に位置する。舞鶴湾から出て漁をしているので、海が時化した時は漁ができないときもあるが、それも自然の摂理。これほど広大な自然溢れる場所はそう

職業は「りょうし」。

海と山がある地形に恵まれた場所のできできない漁師と猟師。

このどちらかをしている人は少ないだろう。しかし、どちらもこなしている人はそう多くない。

自然溢れる舞鶴で海と山に携わる仕事の二刀流で、気候や鳥獣と格闘しながらも日々を楽しむ手石方さんに話を伺った。

「田舎暮らしの本」子育て世代が 住みたいまちで近畿エリア 1位

雑誌販売数トップシェアの宝島社が発行する「田舎暮らしの本」2月号の2022年版住みたい田舎ベストランキングで次のとおり好順位でした。ランキング内容は、今後、移住相談会や広報などで積極的に活用し、移住・定住施策の推進を目指します。

◆近畿エリア (72市町村中)

- ◆若者世代・単身者が住みたいまち…2位
- ◆子育て世代が住みたいまち…1位
- ◆シニア世代が住みたいまち…3位

◆人口5万人以上 20万人未満のまち (173市町村中)

- ◆若者世代・単身者が住みたいまち…12位
- ◆子育て世代が住みたいまち…6位
- ◆シニア世代が住みたいまち…11位

同雑誌では「自然のなかで暮らしながら、質の高い教育が受けられる」というタイトルで、合計特殊出生率(※)が1.9と高いことや子育て環境の充実に入れていること、マリンスポーツや魚釣りが楽しめることなど、舞鶴市の長が紹介されています。《移住・定住促進課》

※合計特殊出生率…15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものの女性の一生の間に生む子どもの数に相当する



多くない」と田井地区への熱い思いが溢れ出す。

サル撃ち名人

移住して、田井地区の住民との付き合いも親密になる。「イノシシやシカ、サルなどの鳥獣被害が深刻になっているから何とかならんかな」と地元の人から要望があり、自身も山が好きで猟師に興味があったことや、地域に1人は猟師がいた方がよいとの思いから舞鶴東猟友会へ入会。わな猟と猟銃の両方の免許を取得し、地元からの要望があればすぐにわなを設置するなど、山に入っては鳥獣の動きを常に監視している。中でも農地へ侵入し農作物に被害を及ぼすサルを猟銃で捕獲することは猟友会の中でも群を抜いており、その腕前から「サル撃ち名人」の異名を持つ。

地元の人が「サルは手石方さんの顔を覚えていて、顔を見ただけで逃げていく。中には手石方さんの車を見ただけで山に帰っていくサルもいる」と話すほど。

次の世代に残したいもの

「海と山が好きで始めたこの仕事は常に自然と向き合っている。これからも仕事・趣味を続けていくために、今のこの自然を壊したくはない。子ども達にもこの自然豊かなところで大人になって

もずっと住みたいと思ってもらえるまちにしていきたい」と話す手石方さんは今日も「りょうし」をするため、海・山へと向かっている。



▲漁を行うため船で沖に出ていく様子



▲山へ猟に入っていく様子